

5 主要事業個別説明資料

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

那覇空港の整備（エプロン新設・改良）
～平成20年度 完了事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>空港の根幹施設である誘導路のうち、A-1誘導路については、長年の使用により舗装の劣化等が進行していることから、平成20年度に改良工事を行うものである。</p> <p>また、貨物ターミナル地区前において増大する航空需要に対応するためエプロンの新設工事を行うものである。</p>	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成20年度
	完成予定年度 平成20年度
	平成20年度事業費 1,626百万円

概要図

平成20年度 施工箇所



2. 平成20年度の整備内容

エプロン改良、エプロン新設、排水溝改良

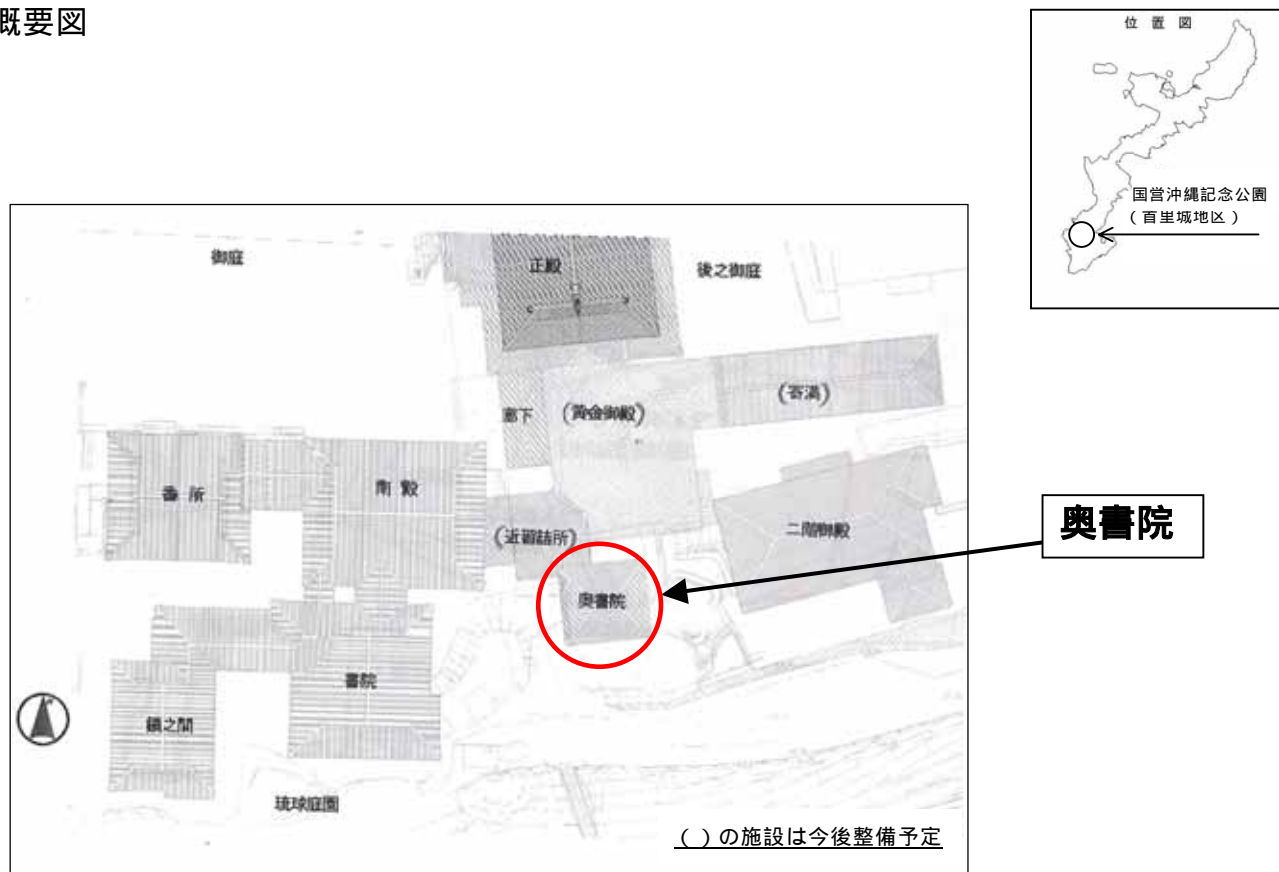
【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

国営沖縄記念公園首里城地区（奥書院整備）

～平成20年度 新規事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>国営沖縄記念公園首里城地区は、戦災によって失われた沖縄県のシンボリック的存在である「首里城」の再現を図り、沖縄の歴史・文化・観光の拠点となる都市公園を目指して整備を進めている。</p> <p>奥書院は、国王が執務の間に休息した建物であり、平成20年度から復元整備に着手する。</p>	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成20年度
	完成予定年度 平成23年度
	平成20年度事業費 90百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、敷地造成を行う。

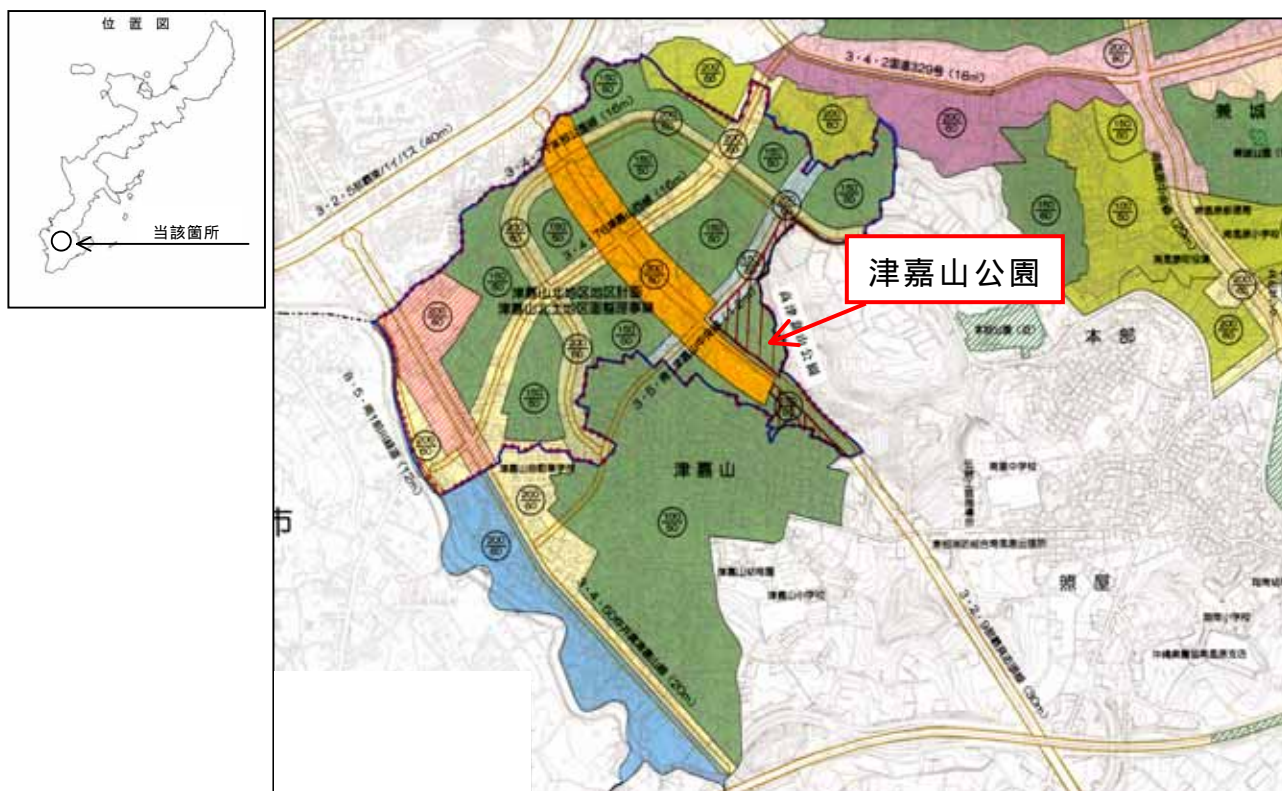
【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

都市公園等統合補助事業（津嘉山公園）

～平成20年度 新規事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>本公園は、南風原町津嘉山北地区で進められている土地区画整理事業地内に位置し、国道507号バイパス沿道の商業施設に接しています。</p> <p>イベントの可能な多目的広場や傾斜地を利用した野外ステージを整備し、土地区画整理事業による良好な市街地と併行して都市公園を整備することにより、住民の憩いやレクリエーションの場を提供し、良好な都市環境を確保します。</p>	完成・新規・継続の区分	新規
	事業区分（直轄・補助）	補助
	事業着手年度	平成20年度
	完成予定年度	平成26年度
	平成20年度事業費	-

概要図



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、用地買収を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

那覇港泊ふ頭地区大型旅客船ターミナル整備事業

～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

那覇港には、これまで多くの外国人観光客が旅客船を利用して訪れています。しかしながら、その受け入れについてはコンテナなどの貨物が密集し、荷役作業が頻繁に行われている一般貨物取扱岸壁での対応を余儀なくされており、沖縄のイメージの低下に加え安全性および荷役作業効率の低下が問題となっています。こうしたことから、観光立県沖縄としての海の玄関口にふさわしい旅客船ターミナルの整備を行うものです。また大規模地震が発生した場合、多くの背後圏人口を抱える那覇港において緊急物資対応の耐震強化岸壁の整備は急務となっています。よって、大型旅客船ターミナルを耐震強化岸壁として一体的に整備することにより、国際交流拠点の基盤整備を図るとともに、防災拠点の整備を図ります。

なお、整備効果の早期発現を図るため、平成21年春の暫定供用を目指します。

完成・新規・継続の区分
継続

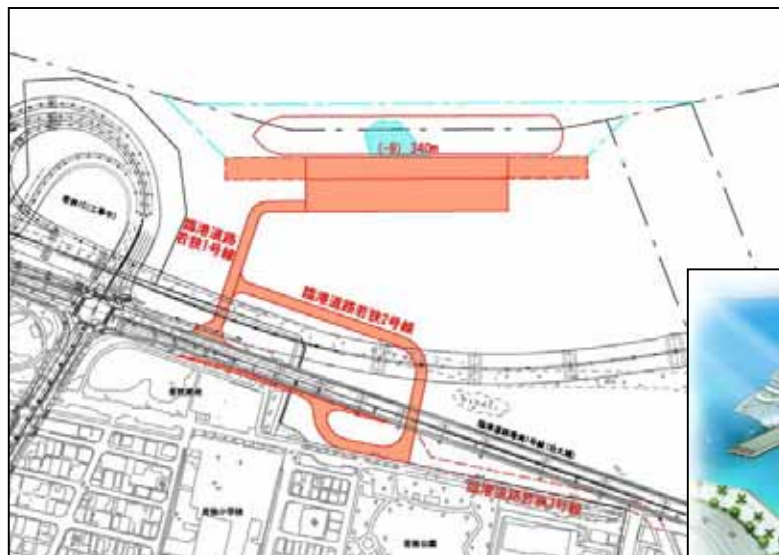
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成18年度

完成予定年度
平成23年度

平成20年度事業費
2,662(2,529)百万円

概要図



旅客船ターミナル

2. 平成20年度の整備内容

19年度に引き続き、岸壁、港湾施設用地、道路の整備を実施する予定。
また、今年度より泊地の浚渫に着手する予定。

【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり（活力）】

那覇港那覇ふ頭地区臨港道路（空港線）整備事業
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>沖縄の大動脈である国道58号は慢性的な交通渋滞に陥っており、早期の交通渋滞解消が求められている。</p> <p>那覇港臨港道路空港線は那覇港と那覇空港及び本島南部を海底トンネルにより連絡するものであり、那覇港における効率的な物流体系の形成に加え、国道58号線の交通負荷の軽減に資するものとして、早期供用が期待されています。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成4年度
	完成予定年度 平成22年度
	平成20年度事業費 5,100(4,845)百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

7号函沈設の準備工事を実施するとともに、トンネル内部設備工事に着手する予定。

【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり（活力）】

那覇港浦添ふ頭地区臨港道路（浦添線）整備事業

～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>沖縄本島の物流拠点である那覇港から本島中北部方面への物流については、浦添ふ頭以北の臨港道路が未整備であるため、港湾関連貨物は、慢性的な交通渋滞が続いている市街地を經由し、輸送することを余儀なくされています。このまま推移すれば那覇港の発生集中交通のみならず一般交通にも極めて深刻な影響を及ぼすことが予想されます。</p> <p>よって、那覇港から中北部方面への臨港交通機能を強化し、港湾物流の円滑化を図るため、臨港道路（浦添線）の整備を図ります。</p>	完成・新規・継続の区分	継続
	事業区分（直轄・補助）	直轄
	事業着手年度	平成17年度
	完成予定年度	平成22年度
	平成20年度事業費	100(95)百万円

概要図



臨港道路(浦添線)



2. 平成20年度の整備内容
道路の詳細設計を行う予定。

【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり（活力）】

石垣港新港地区大型旅客船ターミナル整備事業
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>石垣港では、大型旅客船が台湾や内地等から年間30～50隻（定期・不定期）寄港し、石垣市をはじめとする八重山地域の観光産業に大きく貢献しています。しかしながら、旅客船に対応した岸壁が未整備であるため、貨物船等と同じ施設の利用を余儀なくされており、荷役貨物の間を乗客が往来するなど安全面、効率性に問題が生じています。</p> <p>石垣港大型国際旅客船ターミナル整備事業は、沖縄クルージングネットワークを形成するとともに、観光立市宣言都市の石垣市においてクルージングを推進し、地域の観光産業に大きな寄与が期待されています。</p>	<p>完成・新規・継続の区分 継続</p>
	<p>事業区分（直轄・補助） 直轄</p>
	<p>事業着手年度 平成17年度</p>
	<p>完成予定年度 平成23年度</p>
<p>平成20年度事業費 1,200(1,140)百万円</p>	

概要図



2. 平成20年度の整備内容

19年度に引き続き、岸壁・防波堤の整備を実施する予定。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

那覇港浦添ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業

～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

那覇港は、沖縄県の海の玄関口として外国や本土および宮古・八重山や周辺離島とを連絡する沖縄で最も重要な港湾であり、中でも新港ふ頭地区は那覇港取扱貨物の7割を扱う沖縄県経済流通の中心的機能を果たしています。その一方で、取扱量の多さから荷捌き地の不足等、荷役効率の低下を招いており、新港ふ頭の貨物を他の施設へ移転させることが緊急の課題となっています。

那覇港浦添ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業は、新港ふ頭の機能の一部を移転することを目的に整備を行うものであり、那覇港の機能再編、ふ頭の効率性・利便性・安全性の向上を図り、物流効率化による地域産業の競争力の向上に寄与するものであります。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成19年度

完成予定年度
平成22年度

平成20年度事業費
390(351)百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

今年度より岸壁の整備に着手する予定。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

沖縄東部河川総合開発事業（億首ダム）の整備促進
 ~ 沖縄本島の安定的な水道用水の早期確保を目指して ~

1. 事業概要

億首ダムは、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境保全等のための流量の確保、かんがい用水及び水道用水の供給を目的とする多目的ダムです。

平成5年度から建設工事に着手し、平成23年度の完成に向けて用地取得、諸調査、工事用道路等の整備を進めています。

完成・新規・継続の区分
 継続

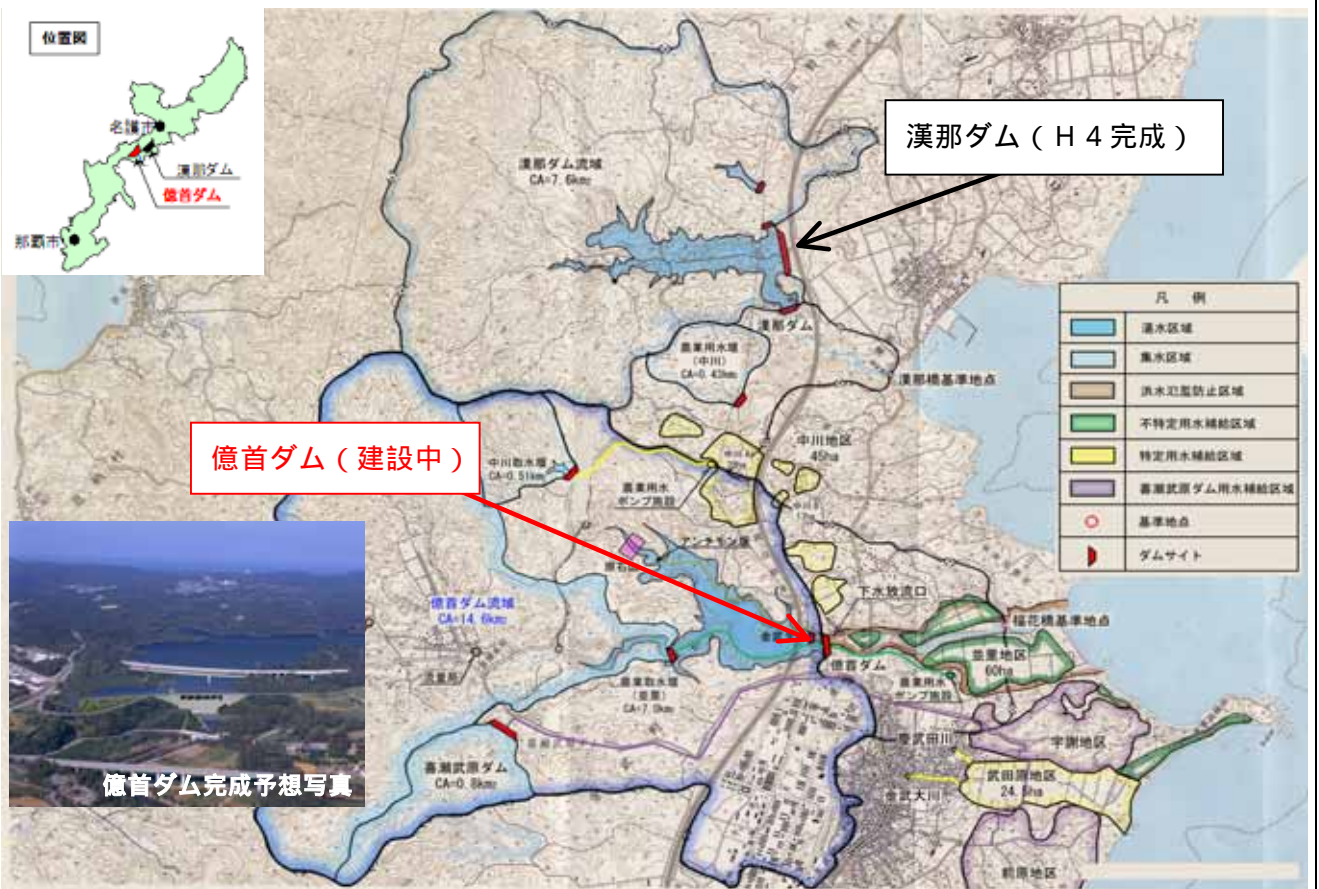
事業区分（直轄・補助）
 直轄

事業着手年度
 平成5年度（建設事業）

完成予定年度
 平成23年度

平成20年度事業費
 約1,594百万円
 沖縄東部河川総合開発事業（億首）

概要図



2. 平成20年度の整備内容

仮設備敷地造成工事等を継続実施するとともに、本体工事に着手する予定。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

熱田地区地すべり対策事業（北中城村）の整備促進
～平成20年度 新規事業～

1. 事業概要

当該地区は、北中城村字熱田に位置する東向き斜面で、変動を示す滑落崖や斜面上部の住宅地におけるブロック塀の亀裂等の変状が確認されている。平成13年には集中豪雨により斜面崩壊が発生し、流出土砂が熱田自治会内の水路を埋め、国道329号まで達した。斜面の上下部には人家が密集し、村道が存する。村道は通勤・通学等、生活道路として利用されていることから、斜面の地すべりを防止することにより、住民の生命、財産を守り、村道の安全を確保する。

完成・新規・継続の区分
新規

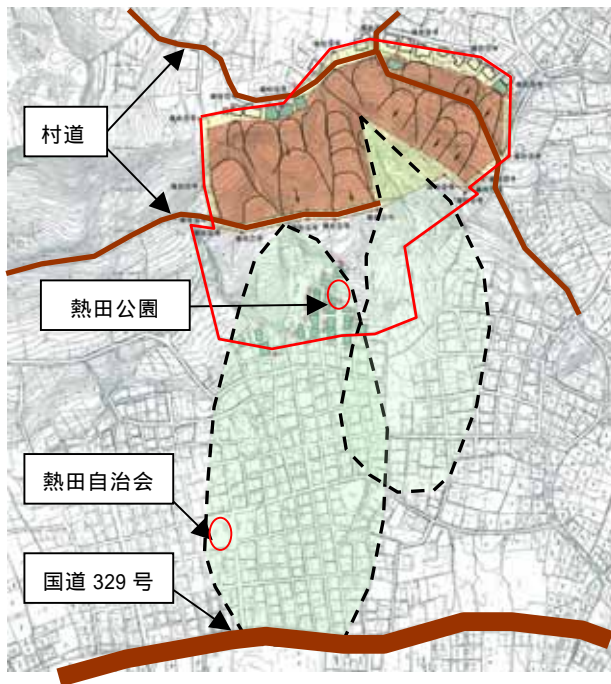
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成20年度

完成予定年度
平成29年度

平成20年度事業費
50百万円

概要図



H13年度被災状況



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、実施設計及び排水工の施工を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

渡久地地区急傾斜地崩壊対策事業（本部町）の整備促進
～平成20年度 完成事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島北部の本部町渡久地地区に位置し、斜面下部に保全対象となる人家が27戸および県道219号線が存在する急傾斜地である。

本事業により保全される県道219号線は、年間168万人の利用者が見込まれる国営沖縄記念公園へのアクセス道路となっていることから、地域経済へのダメージ及び住宅等を保全するため、土砂災害を防止する急傾斜地崩壊対策事業による対策を実施する必要がある。

完成・新規・継続の区分
完成

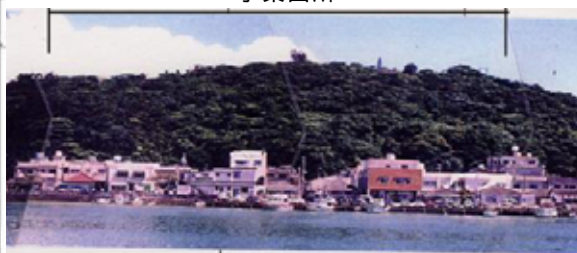
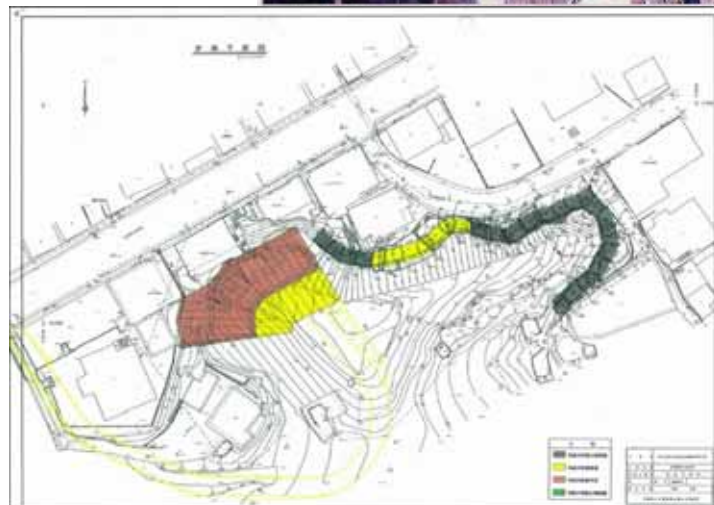
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成15年度

完成予定年度
平成20年度

平成20年度事業費
10百万円

概要図



事業箇所

2. 平成20年度の整備内容

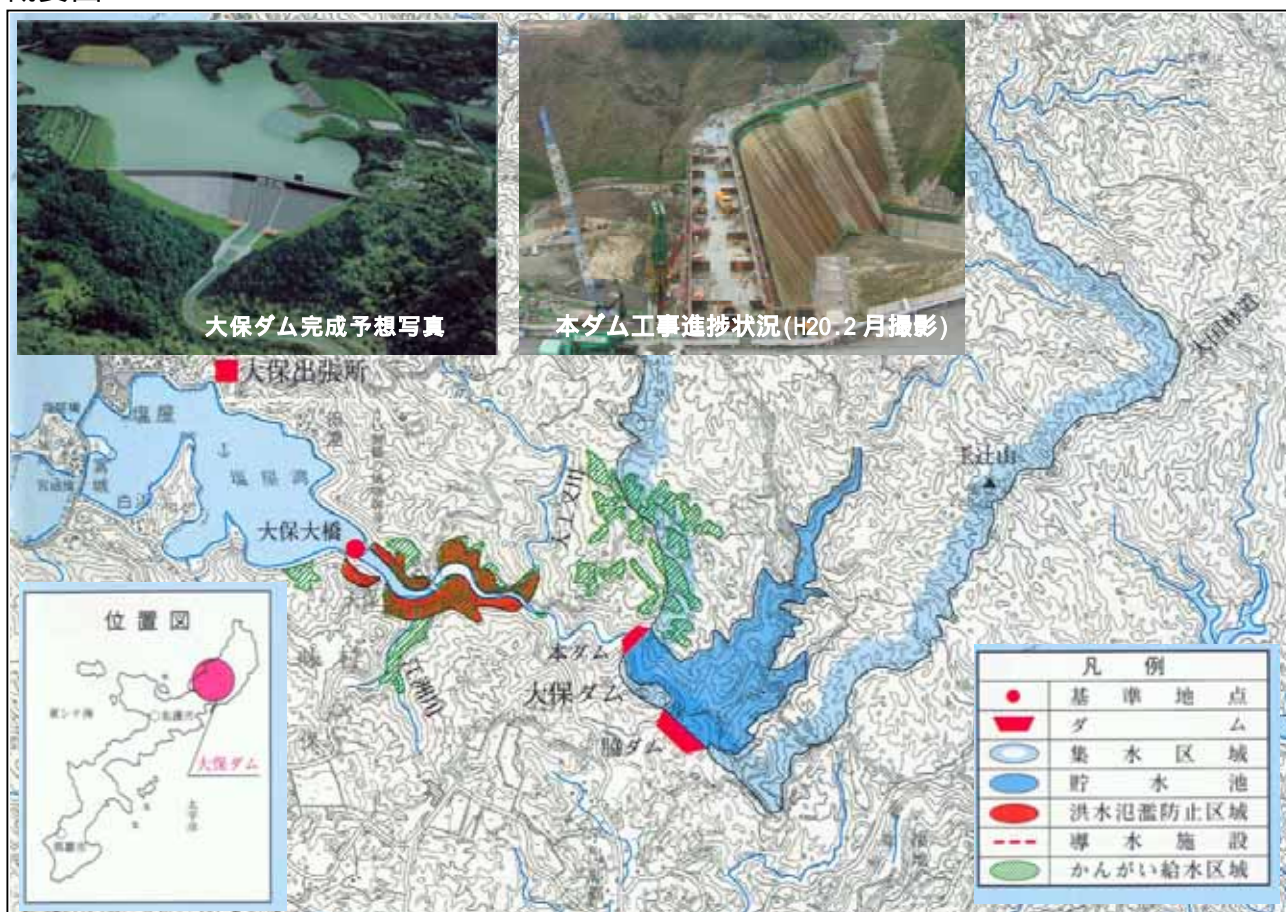
平成20年度は、法面工の施工を実施し、平成20年度完成を目指します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

沖縄北西部河川総合開発事業（大保ダム）の整備促進
 ～ 沖縄本島の安定的な水道用水の早期確保を目指して ～

<p>1. 事業概要</p> <p>大保ダムは、大保川水系大保川に大保ダムを建設し、沖縄県企業局による西系列水道水源開発事業における8河川取水等を大保ダムに導水するもので、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、水道用水の供給を目的とする多目的ダムです。</p> <p>平成14年度には本体建設工事に着手して平成18年度には脇ダム盛立を完了させ、平成20年度には本ダム本体を完成させる予定です。平成21年度内には試験湛水を完了させて、平成22年度供用開始を目指して着実に事業の進捗を図ります。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成2年度（建設事業）
	完成予定年度 平成21年度
	平成20年度事業費 約8,114百万円 沖縄北西部河川総合開発事業全体

概要図



2. 平成20年度の整備内容

本ダムを完成させるとともに、平成21年度の試験湛水に向けて管理設備、跡地整備等を実施予定。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

安里地区特定緊急地すべり対策事業（中城村）の整備促進
～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

当該地区では、平成18年6月10日に大規模な地すべりが発生し、村道及び県道が被災し、斜面下の住宅付近まで流動化した土砂が流入、82世帯が避難し、現在も7世帯19名が避難している。

地すべりが発生した斜面に隣接する場所には亀裂等がみられ、このまま放置すると再度、斜面上下部の住宅及び斜面中腹にある県道に甚大な土砂災害を引き起こすおそれがある。

当該地区の被害想定区域には、保全人家82戸、当地区の公民館、村道坂田線、県道35号線及び国道329号がある。

よって、住宅等の安全を確保するため、地すべり対策を実施する。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成19年度

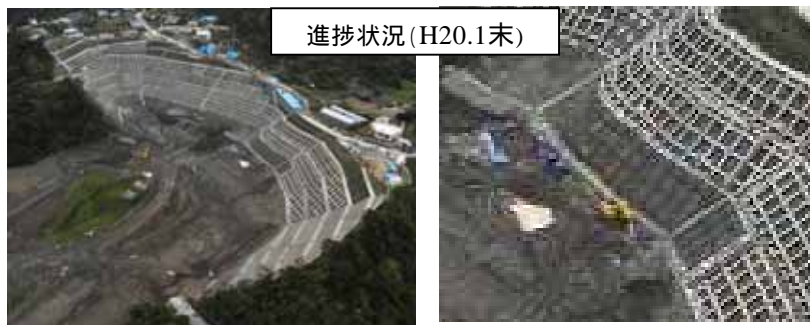
完成予定年度
平成21年度

平成20年度事業費
140百万円

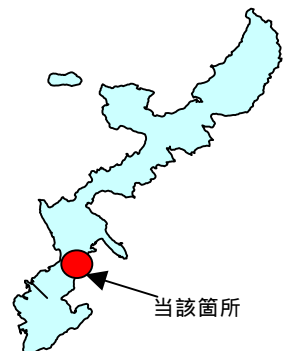
概要図



被災直後(H18.6.10)



進捗状況(H20.1末)



当該箇所

2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、法枠工の施工を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

新川地区地すべり対策事業（南風原）の整備促進
～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

当該地区は、平成11年に大規模な地すべりが発生した斜面(中央育成園)に近接し、平成17年6月に梅雨前線豪雨による斜面崩壊が発生した。斜面には亀裂や滑落崖がみられ、斜面上部の町道には土塊の斜面側への移動による亀裂が生じており、このまま放置すると、甚大な土砂災害を引き起こすおそれがあることから、平成18年7月に土砂災害警戒区域の指定を行った。

当該地区の被害想定区域には、保全戸数68戸、当地区の集会所及び避難場所である小学校がある。よって、住宅、避難場所等の安全を確保するため、地すべり対策を実施する。

完成・新規・継続の区分
継続

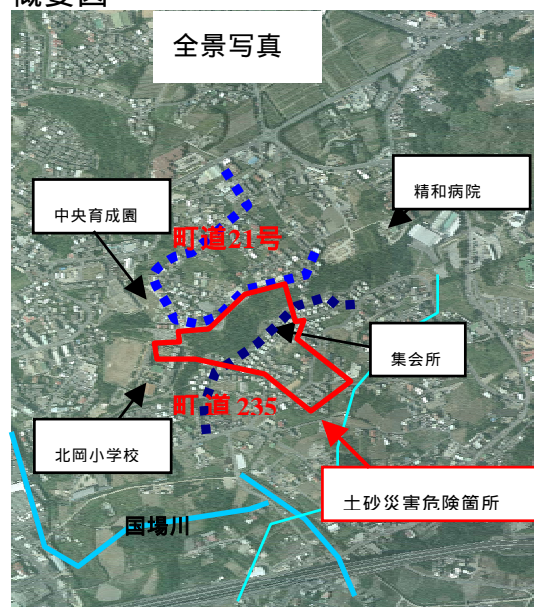
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成19年度

完成予定年度
平成24年度

平成20年度事業費
45百万円

概要図



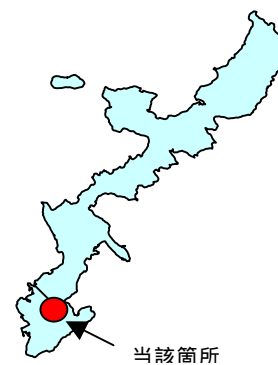
北岡小学校(避難場所)



斜面崩壊状況



斜面上部



当該箇所

2. 平成20年度の整備内容

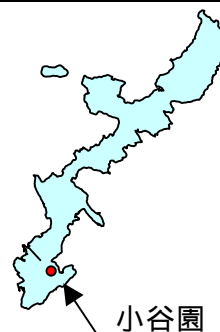
平成20年度は、抑止工の施工を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり(安全)】

小谷地区地すべり対策事業(南城市佐敷)の整備促進
 ~平成20年度 継続事業~

<p>1. 事業概要</p> <p>当該地区は、沖縄本島南部の南城市西部に位置し、地形は標高 170m 程度の全体に緩やかな起伏を示す丘陵地で、斜面自体に地すべりの兆候と見られる小崩壊や亀裂等が多数見られる。また、斜面下には災害弱者関連施設の特別養護老人ホーム小谷園が存在するが、平成7年3月と6月、平成17年6月に施設背後の斜面が崩壊して施設に被害をもたらした。今後の土砂災害を未然に防止するために地すべり対策事業による対策を行うものです。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分(直轄・補助) 補助
	事業着手年度 平成17年度
	完成予定年度 平成21年度
	平成20年度事業費 80百万円

概要図



小谷園背面土砂崩壊

平成17年6月の被災状況



仮設防護柵の設置
被災直後



仮設施工後の状況



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、抑制工及び抑止工の整備を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

伊原地区通常砂防事業（南城市）の整備促進

～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島南部南城市の北方に位置し、土石流危険箇所と地すべり防止区域が混在した地域である。

平成18年6月の豪雨により山腹崩壊が発生し、既設排水路及び農道が被災し、平成18年度災害関連緊急砂防事業の採択を受け山腹崩壊対策を実施しているが溪流に係る土石流対策が未整備である。また、現在も島尻泥岩層が攪乱した状態で風雨にさらされ、溪流が浸食(山腹崩壊)が発生していることから、砂防えん堤の整備を行い、溪岸浸食等による2次災害を防止し、集落、市道、耕地を保全する。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成18年度

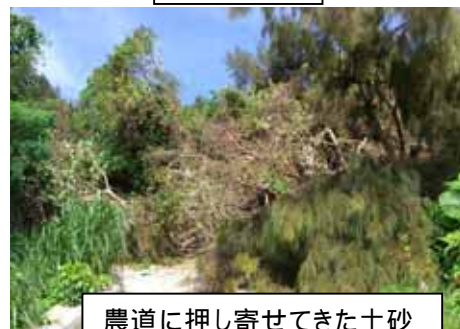
完成予定年度
平成22年度

平成20年度事業費
40百万円

概要図



崩壊斜面



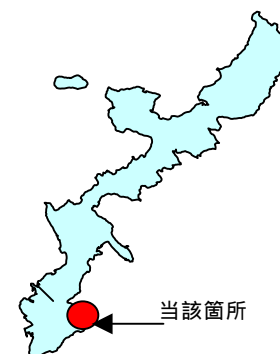
農道に押し寄せてきた土砂



溪流荒廃状況



崩壊斜面中腹部



当該箇所

2. 平成20年度の整備内容

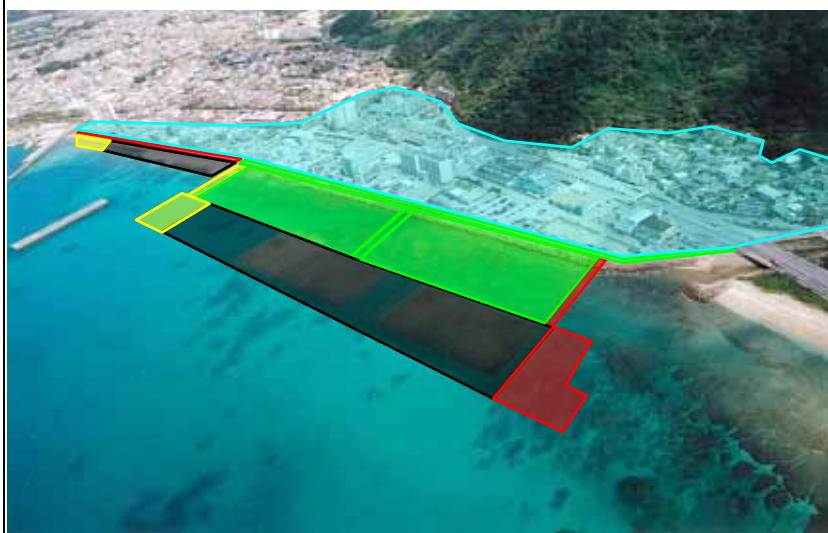
平成20年度は、砂防えん堤本体工の施工に着手します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

東江海岸高潮対策事業
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>当該事業は、高潮等による越波を防止し、背後地の保全を図ることを目的に名護市東江地先において人工リーフ、堤防、突堤等を整備するものです。</p> <p>平成20年度には漁港側を完了する予定です。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 平成13年度
	完成予定年度 平成22年度
	平成20年度事業費 510百万円

概要図



■	H18年度以前
■	H19年度
■	H20年度
■	H21年度以降



台風による越波状況



台風による越波状況

平成20年度の整備内容

平成20年度は、人工リーフL = 60m、突堤1基、防潮林（漁港）L = 450mの整備を行う予定です。

【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

中部流域下水道事業
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>中部流域下水道は、沖縄本島中南部西海岸の那覇市、浦添市、宜野湾市を中心とする都市部において、本土復帰前の昭和41年に事業を開始した。昭和47年に「沖縄中南部統合下水道事業」として琉球政府の認可を得、また昭和48年には「沖縄県中部流域下水道事業」として建設大臣の認可を得て下水道事業を推進し、那覇港海域、比謝川、国場川等公共水域の水質保全と生活環境の向上を図っている。</p> <p>なお、中部流域下水道は那覇市など4市町からなる那覇処理区と宜野湾市など7市町村からなる伊佐浜処理区がある。</p>	完成・新規・継続の区分	継続
	事業区分（直轄・補助）	補助
	事業着手年度	昭和 47 年度
	完成予定年度	平成 30 年度
	平成20年度事業費	5, 821 百万円

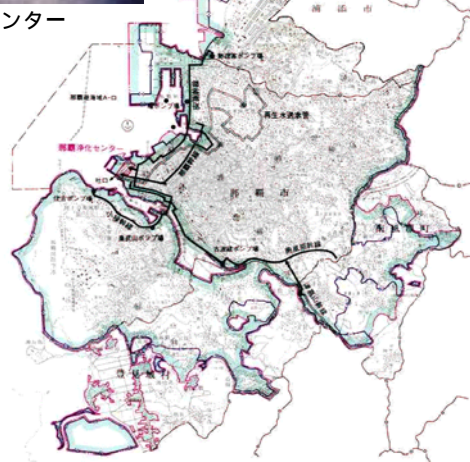
概要図



那覇浄化センター



宜野湾浄化センター



那覇処理区事業位置図



伊佐浜処理区事業位置図

2. 平成20年度の整備内容

【那覇処理区】 南風原幹線の工事を引き続き行う。また、老朽化した那覇幹線の管更生を行う。

【伊佐浜処理区】 沖合埋立地の下水処理場用地購入を引き続き行い、処理施設増設のための工事を継続する。

【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

国場川広域基幹河川改修事業

～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

国場川は、流域面積43km²、流路延長11.25kmの沖縄県では比較的大きな都市河川であります。昭和47年度に河川改修に着手し、流域内の都市化の進展による保水機能の低下や流下能力不足により多発する浸水被害の解消を目指し、下流から順次河川整備を実施しています。河川整備計画延長8.25kmうち、平成17年度までに河口から下茂橋までの約5.7kmの那覇市区間整備を概成し、平成18年度からその上流の南風原町区間の整備に着手しています。

国場川は都市部の貴重な水辺空間であることから、川沿いに親水性の高い魅力ある歩行空間を形成し、地域住民に広く親しまれ利用される河川整備を行います。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
昭和47年度

完成予定年度
平成27年度

平成20年度事業費
440百万円

概要図



憩いの親水テラス(イメージ図)



賑わう沿川(イメージ図)

2. 平成20年度の整備内容

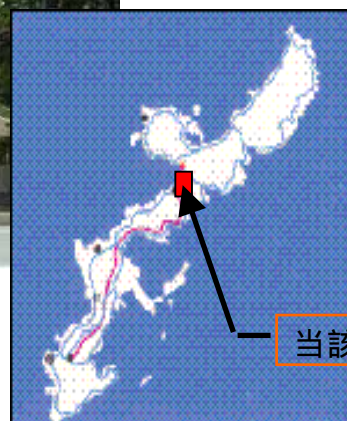
平成20年度は、大型商業施設付近において親水性を高めた護岸整備を行うとともに、太子橋上流の護岸整備や用地補償を行い、整備の進捗を図ります。

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

名護税務署高齢者・身障者施策施設整備事業
～平成20年度 新規事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>高齢者、障害者を含むすべての人が円滑かつ快適に施設を利用できるようユニバーサルデザインの考え方をふまえ、窓口業務を行う既存庁舎へのエレベーターの設置、自動扉、スロープ等の設置を推進します。</p>	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成20年度
	完成予定年度 平成20年度
	平成20年度事業費 44百万円

概要図



当該箇所

2. 平成20年度の整備内容

エレベーターの設置、自動扉、スロープ等の設置を行います。

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

公営住宅等の整備促進（県営名護団地）
～平成20年度 新規事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>県営名護団地は名護市郊外に位置し、昭和48～51年度に建設されたRC造中層集合住宅13棟、総戸数240戸の団地です。</p> <p>築後30余年が経過し、住戸の老朽化や住機能低下の解消のため建替えを行うものである。</p> <p>平成20年度より 期工事56戸に事業を着手し、順次建替えを行い、平成27年度に完成・供用の予定です。建替え後の全戸数は、240戸の予定である。</p>	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 平成20年度
	完成予定年度 平成27年度
	平成20年度事業費 330百万円

概要図



【完成予想】

2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は工事に着手します。（8階建 56戸）

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

公営住宅等の整備促進（県営浜川団地）
～平成20年度 完成事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>県営浜川団地は、糸満市に位置し、昭和49年度に建設されたRC造中層集合住宅9棟、総戸数220戸の団地である。</p> <p>築後30年経過し、住戸の老朽化や住機能低下の解消、防災上の向上等へ対応するため、建替えを行うものである。</p> <p>平成16年度より 期工事120戸に着手しており、平成18年度から 期工事として残りの100戸を着手し、平成20年度に完成・共用します。建替完了後の全戸数は220戸である。</p>	完成・新規・継続の区分 完成
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度（期） 平成16年度
	完成予定年度 平成20年度
	平成20年度事業費 287百万円

概要図



【完成予想】

2. 平成20年度の整備内容

期工事（100戸）を完成・共用します。

【特性を生かした安らぎと活力のある地域づくり(暮らし)】

ぎまがわ くめしま
儀間川総合開発事業(久米島町)

1 概要

久米島町は台風常襲地帯であり、大雨による浸水被害が多発しているため、ダム等による治水対策を進めています。また、水道用水とかんがい用水は同じため池を主な水源としています。このため、毎年夏場の渇水時には水道用水を最優先に確保するため、かんがい用水が確保できず、基幹産業であるサトウキビ畑の干ばつ被害が頻発しており、新たな水源の確保が求められています。

以上のような洪水被害と渇水被害の対策として、儀間川総合開発事業が計画され、これまで平成2年度から実施計画調査を実施し、平成13年に河川整備基本方針、河川整備計画を策定しました。平成16年度から建設事業に移行しています。完成目標年度は平成26年度となっています。

完成・新規・継続の区分
継続

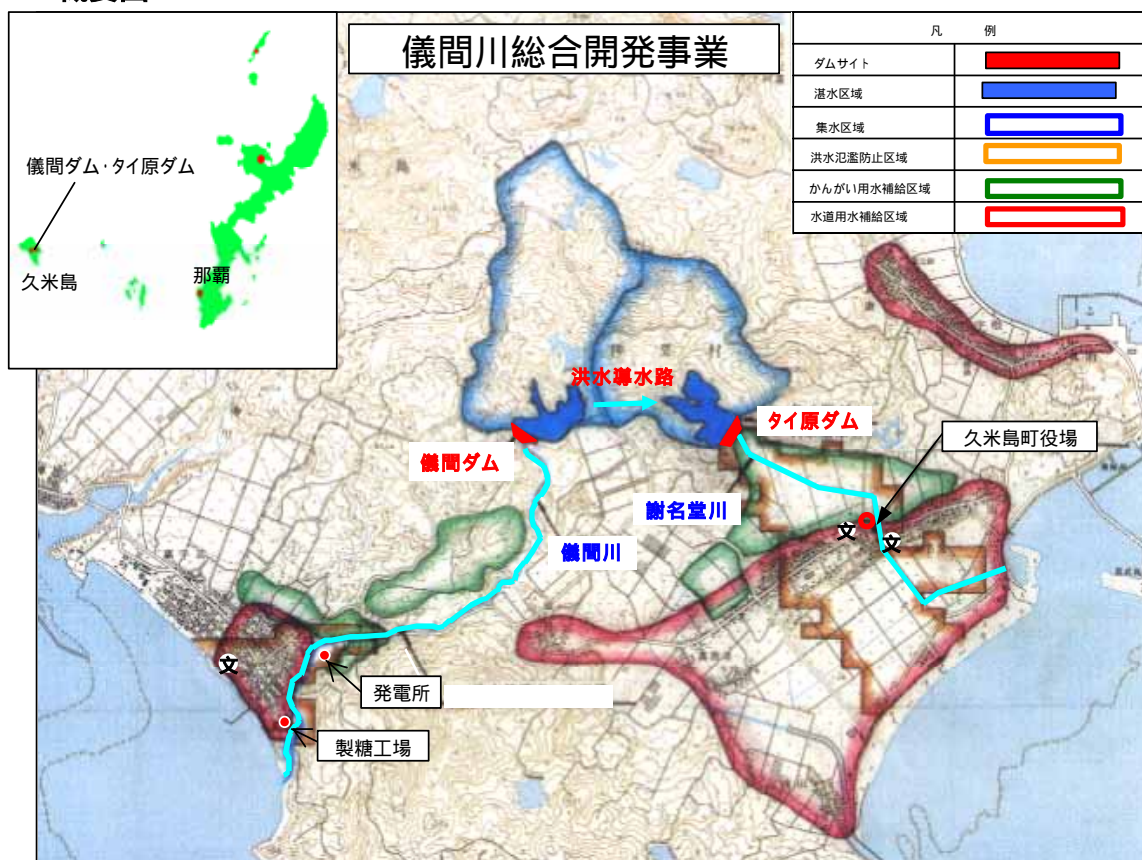
事業区分(直轄・補助)
補助

事業着手年度
平成16年度(建設事業)

完成予定年度
平成26年度

平成20年度事業費
1,519百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

儀間ダム本体工事を継続するとともに、ダム建設に必要な諸調査・用地取得を実施します。

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

石垣港本港地区離島ターミナル整備事業
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>石垣港離島ターミナルは西表島、竹富島など周辺離島航路の発着地であり、年間約200万人（H18）が利用している八重山諸島観光の玄関口でもある。</p> <p>しかし、水域・陸域とも狭隘化しており、利便性・安全性の向上と貨物取扱の効率化を促進するため、早期供用が期待されている。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 平成15年度
	完成予定年度 平成24年度
	平成20年度事業費 30(27)百万円

概要図



将来

現況



2. 平成20年度の整備内容

利便性向上のため、ターミナルから浮棧橋に接続する屋根付歩道の整備を行う。